

水稻V溝乾田直播栽培の生育状況（6月1日現在）

■ 耕種概要等

- ① 品 種 まっしぐら
- ② 圃場造成 秋季耕起、代かき
- ③ 種子処理 種子消毒後に浸種、キヒゲン R2 フロアブル塗抹
- ④ 播種機 V溝播種機
- ⑤ 播種日 4月23日
- ⑥ 播種量 乾籾 10kg/10a 程度
- ⑦ 施肥量 窒素成分 10kg/10a 程度（LP100）
- ⑧ 雑草防除 5月25日ノミニー液剤

■ 生育状況



十分な苗立数を確保



ノミニー液剤の薬害（黄化症状）



入水を開始



最初は少しずつ入水

6月1日から入水を開始しました。苗立ち数は㎡当たり 240～300 本と十分な本数を確保しています。イネの葉齢は 1.5～2.2 葉程度で、5月25日に散布したノミニー液剤の軽微な薬害（黄化症状）が見られていますが、生育には特に支障がないと考えられます。

■ 栽培管理のポイント

入水は選択性茎葉処理除草剤を散布して3日目以降から少量ずつ行い、徐々に入水量を多くして湛水状態にします。

そして、選択性茎葉処理除草剤散布の7～10日後頃に十分な湛水深を確保してから一発除草剤を散布します。

農薬を使用するときは、必ず最新の農薬登録情報を入手して、直播栽培に登録があることを確認してください。